



414
A1089



蠶業會社規則第一章 總則

第一條

一 拜借ノ官金拾萬圓ハ本社ノ資本トシテ縣内
兵燹ニ罹レル至困々士族カシテ蠶業ニ從事
セシムルノ資本ニ貸與ス

第二條

一 拜借金辨償ハ如願濟五年据置キ六年目ヨリ
向々十年ニ完納スルモトス

第三條

一 本社ニ於テ購求シタル地所ヲ以テ拜借金ノ

大正十一年四月
蠶業會社

抵當ニ備フルモノトス

第四條

一 拜借金返納ハ六年目ヨリ年々各自受持地ノ價額ニ應シ組長之ヲ取纏メテ本社ニ致スヘシ

但シ納期ハ六月十月ノ兩度トス

第五條

一 桑園ノ位置ハ縣下遠近ヲ問ハス各自ノ便利ニ任ス

第六條

一 地所ヲ貸與スル者ハ就産ノ志アリト雖モ貧窶ニシテ資本ナキ者ニ限ルヘシ

第七條

一 入社ヲ請フ者ハ一々其財力ヲ評シ之ヲ許否スルハ發起人ノ公認ニ決シ或ハ投票ヲ以テ之ヲ定ムルコトアルヘシ

第八條

一 希望人許多ニシテ拜借ノ金額不足スルハ抽籤法ヲ以テ其剩員ヲ省クヘシ

第九條

一入社ヲ請フ者ハ各自組合ヲ團結シ名簿住所
番地及ヒ戸別ノ人負ヲ詳記シ家産ノ明細表
ヲ制シ組長之ヲ本社ニ致スヘシ

第十條

一貸與ノ地所ハ各自便利ノ地ヲ擇ヒ郡村字番
地ヲ詳記シ組長ニ差出シ組長之ヲ纏メテ本
社ニ致スヘシ

但本社檢地員ヲ出シテ實地ヲ監視セシム
ルヲアルヘシ

第十一條

一壹戸ニ付百五拾圓迄ノ地所ヲ貸與ス

但壹反ニ付桑苗代六圓ヲ貸與ス

第十二條

一十戸以上ヲ一組トシ蠶業熟達ノ研究ハ勿論
疾病事故有テ正租其他諸掛及ヒ年賦上納等
ノ義務ヲ欠クハ該組合中ニテ之ヲ負擔ス
ルモトス

第十三條

一組合ハ第十四條ノ責任アルモノナレハ必ス
シモ最寄方角ヲ擇ハス互ニ相知ル者ヲ以テ

スヘシ

第十四条

一組合舉テ非常ノ災害ニ遭遇スルモ八年賦上納其他諸税自餘各組ノ負擔タレヘシ
但此ノ如キ場合ニ於テハ臨時會ヲ開キ將來ノ處置ヲ決スヘシ

第十五条

一退社セシト欲スル者ハ更ニ代員ヲ撰入スルモ又ハ該組合ニ於テ之ヲ分掌スルモ其組合ノ協議ニ任ス

第十六条

一春秋二期ニ發起人組長ノ會ヲ開キ營業ノ開達及ヒ社中ニ関スル利害ヲ審議セシムル臨時會ヲ要スルハ此限ニ非ス

第十七条

一公議決定スト雖モ社長之ヲ是認セサルモハ其理由ヲ詳明シテ再三議ニ及ハシムルヲ得ル者トス

第十八条

一 本社筆紙墨薪炭油郵便税一切ノ費額ハ一箇月拾圓ト假定ス

但費額ヲ増減スルハ會議ノ公論ニ決ス

第十九條

一 現金ノ出納ハ總テ銀行ニ委托シ實費決算ハ翌年度通常會ニ之ヲ報告スヘシ

第二十條

一 社長以下ノ月給及ヒ本社ノ經費ハ本社ヨリ貸與シタル地所ノ價額百分ノ一二超過セザルノ金負ヲ輯納セシム

但納期ハ六月十月ノ兩度トス

第二十一條

一 買入代價年賦償却ノ義務全ク終リタルハ地券證ヲ直ニ借地人ノ姓名ニ書改メ本人ノ所有タルヘシ

第二章 禁則

第二十二條

第一款 地所貸與ノ後桑苗植付ケノ季節ヲ怠ル者

第二款 地所ノ代價ヲ偽ル者

第三款 桑園ノ培養ヲ怠リ荒蕪ニ屬セシム

ル者

第四款 拜借金返納及ヒ正租地方稅等ヲ怠

ル者

第五款 社金ヲ私ニ貸借スル者

第六款 情緒ヲ偽リ強テ借用セシ者

第七款 前六款ノ外會議ニ於テ是認スヘハ

ラザル条件

第二十三条

一 社則ヲ犯シ奸曲ノ行為ヲ成ス者ハ貸與ノ桑

園并ニ上納濟ノ金額モ併セテ本社へ没入ス
ル者トス

但第五款ノ場合ニ於テハ臨時會議ノ公論

ニ依テ之ヲ處置ス

第三章 本社位置及ヒ役員撰定

第二十四条

一 本社ノ位置ハ熊本縣何區郡何町村何番地ト
ス

第二十五条

一 本社ノ事務ヲ整理セシカ為メ役員ヲ撰定ス

凡五ノ如シ

社長

壹名

會負之ヲ投票公撰シ任期ハ滿一年ニシ

再撰モ妨ナシ

幹事兼會計監督

壹名

取締

五名

撰定法任期前ニ同シ

書記

壹名

會計

壹名

社長之ヲ特撰ス

但社役ノ定員ハ事務ノ繁閑ニ應シ増減スルヲアルヘシ

組長

毎組 壹名

組合中之ヲ投票公撰シ任期ハ滿一年ニ

シテ再撰モ妨ナシ

第四章 役員給料

第二十六條

一役員ノ給料ヲ定ムル左ノ如シ

社長

月給 拾圓

幹事兼會計監督月給

七圓

取締	月給	三圓
書記	月給	五圓
會計	月給	五圓
但月給ハ事務ノ繁閑ニ應シ増減スル		
アルヘシ		

第五章 役員職務

第二十七条

一 役員ノ職務ヲ定ムル左ノ如シ
 社長 本社事業ノ全體ニ注意シ實際ノ事務ヲ處分シ總テ其責ニ任ス

幹事兼會計監督 社長ヲ輔佐シ事務ヲ辦理シ會計ヲ監督シ時宜ニ依リ社長ノ代理タルヲ得

取締 該業ノ盛衰ヲ視察シ各組ノ勤惰ヲ督查シ社長ニ向テ利害得失ヲ辯論スルヲ得

書記 社長ノ指揮ヲ受ケ總テ記録ノ掌ヲ掌ル

會計 社長ノ指揮ヲ受ケ出納ヲ掌リ帳簿ヲ明了ナラシムルヲ要ス

組長 該組合ノ事務ヲ辨理シ 勤惰ヲ視察
シ組合一切ノ責ニ任ス

第二十八條

一 役員ハ任期中疾病又ハ不得止事故アルニ非
サレハ辭退スルヲ許サス

第二十九條

一 役員不正ノ行為アルハ任期中ト雖モ更ニ
改撰スルヲ得

第六章 諸證書々式

第三十條

一 證書ハ左ノ書式ニ從ヒ之ヲ認ムヘシ

一 契約之證 證界紙ニ認ノ寫壹通ヲ本社ニ致スヘシ

肥後國何郡何村何番地

一 畑何反何畝何歩

此地價何圓何拾錢

此地租何圓何拾錢

此買入代價何圓何拾錢

此桑苗代價何圓何拾錢

右者當社ノ地所分借候處實正也然ル上ハ
本年ヨリ五箇年据置キ向十箇年賦ヲ以テ

無相違完納可仕候尤借用年期中ハ如何様
ナル疾病事故ニ遭遇スルモ年賦納社費
ハ勿論正租地方稅協議費等受持地所ニ係
ハル出金ハ總テ辨納致シ決テテ組合中ニ
損害ヲ掛ケ申問敷候依テ保證人相立テ為
後證一札差出候處如件

何疆何柵何番地士族

年号月日

借主 何之誰印

右同

保證人何之誰印

蠶業會社何番組合

組長何之誰殿

一 組合連名之證

證券界紙ニ認ムヘシ

何番組合借用地

一何町何反何畝何步

此地價何百何拾何圓何拾錢

此地租何拾何圓何拾錢

此買入代價何百何拾何圓何拾錢

此桑苗代價何拾何圓何拾錢

該地ニ関スル年賦辨納社費ハ勿論正租地
方稅協議費等總テ本社ニ代リ出念致スル
リ候若組合中中疾病事故アリテ不納スル
片ハ組合中自餘ノ者ヨリ辨償可仕ハ勿論
第十四条ノ場合ニ於テハ相當ノ義務負擔
仕リ決シテ本社ニ損害ヲ掛ケ申間敷候依
テ連名調印ノ上為後證一札差出候處如件

何疆何榭何番地士族

年号月日

右同

何之誰印

蠶業會社

何之誰印

社長何之誰殿

一 契約之證 一行明
證者界紙認ル

何番組合借用地

一 何町何及何畝何步

此地價何百何拾何圓何拾錢

此地租何拾何圓何拾錢

此買入代價何百何拾何圓何拾錢

此桑苗代價何拾何圓何拾錢

右者其組ハ貸與候ニ付祀則無之上ハ安ニ
地所ハ干渉致ス間敷就業者一統為母揃一
札差出候處如件

蠶業會社々長

年月日

何之誰印

何番組合

組長何之誰殿

第三十一条

一前条ノ規則時勢ノ變更ニ由テ實際上下都合
ノ稜アル片ハ會議ノ決定ヲ以テ改良ノ上更

ニ上申スヘシ

右之通確定候也

